

# 新年のごあいさつ

太宰府市長 芦刈 茂

あけましておめでとうございます。  
います。

市民の皆様方におかれましては、夢と希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月30日に市長に就任して市政運営を担当させていただいておりますが、職責の重さに身の引き締まる思いであります。私は「かえよう太宰府」を合言葉に、行財政改革を先頭に立ってやり抜くことをお約束しました。また徹底した情報公開と市民参加により、各分野別に基本計画を見直すことで、市民の皆様のご意見を市政に生かしてまいります。

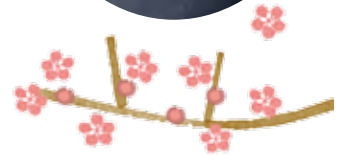
具体的には、総合体育館の運営計画、活用計画を、市民の皆様の説明会でのご意見、議会での議論を踏まえて、整

理いたしました。運営は力を持った民間団体を本年1月よ

り公募し、運営主体を決めます。施設には市民の皆様の健康づくり、体力づくりのために希望の多かったトレーニングジムの設置を考えております。新しい施設を最大限活用し、利用料の増収、管理運営費の縮減を図ってまいります。オープンは本年11月3日を予定しています。

また一昨年、昨年と二年間にわたって「水城・大野城・基肆城1350年」記念事業を、近隣市町とともに開催し、成功裏に終了いたしました。来るべき1400年にむけて、これまでの先人たちの思いを受け継ぎ、将来を担う次の世代へとつないでまいります。

昨年は九州国立博物館が



開館から10周年を迎え、地域と一体となった様々な記念行事が行われました。開館当時、定礎の揮毫をした中学生、朝一番に並んだ小学生たちが10年たつて成人として招かれたことはとても素晴らしいことでした。今後ともわがまちの博物館として、小中学生の社会科見学などに取り組んでまいります。

そのような中、わがまちが『古代日本の「西の都」〜東アジアとの交流拠点〜』として日本遺産に認定いただきました事も記念すべきことでした。現在進めております、第五次総合計画後期基本計画の策定や、まち・ひと・しごと創生法に基づく総合戦略は、それぞれ審議会、総合戦略推

進協議会で審議され、成案されてまいります。これにあわせて市民説明会と合わせパブリックコメントを募集いたします。また、4年にわたる市民会議、審議会で議論され答申が出された自治基本条例案は、パブリックコメント、市民講演会へと進めてまいります。

教育の分野では、太宰府市学力向上宣言を行いました。太宰府市は子どもに確かな学力を育成することを宣言しています。具体的には市内全教員授業研修会、市内留学研修、学力育成の学校体制、コミュニティ・スクールを推進してまいります。中学校給食は委員会を立ち上げアンケート調査を行い、早期の実現を

目指します。年間820万人ともいわれる観光客が訪れるまち太宰府。観光という大きな柱を立てて推進してまいります。本年度さらなる中国クルーズ船の入港が予定されており、関係機関と協議のうえ対応してまいります。

何よりも、安心して暮らせ、住みやすいまちとして、子育て・高齢者福祉を具体化します。

その他たくさん課題を抱えておりますが、市民の皆様のご意見を生かすべく「市長への手紙」を設けました。皆様方のご意見ご提案をお寄せください。また、地域での「市民と語る会」は、3月予算成立後、自治会単位で進める予定です。

結びに、本年も引き続き皆様のご理解と、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、幸多い年にありますことを祈念いたします。私も市政運営に心して臨みますこととお約束して、新年のごあいさついたします。